

東京電機大学大学院 先端科学技術研究科 平成24年度 講義要目(シラバス)

科目名	情報通信先端演習
英文名	Advanced Topics on Information and Communication
学部学科	先端科学技術研究科 情報通信メディア工学専攻
配当学年	1・2・3年次
開講時期	通年
単位数	4.0
必選区分	選択
担当者名	松本 隆男

目的概要	[教育目標] 情報通信分野全般の最先端技術について調査すると共に、幅広い知識および技術を修得し、その将来形態についての展望を得る。 [達成目標] (1) 情報通信全般における最先端技術の分野別整理 (2) 各最先端技術を構成する基本的原理の理解 (3) 各最先端技術の開発経緯の理解および従来技術との比較 (4) 各最先端技術の適用分野および適用可能性の整理 (5) 各最先端技術の将来展望
教科書名	(1) IEEE、電子情報通信学会、情報処理学会などの学会誌・論文誌。 (2) 技術雑誌、技術新聞 (3) Webサイトなどから得られる情報
参考書名	別途指示
評価方法	課題に関し作成したレポートの内容、および報告会におけるプレゼンテーション内容に基づいて評価する。
テーマ・内容	以下の段階に分けて、情報通信分野における最先端技術の調査、検討を行う。 (1) 担当教員と相談の上、対象とする情報通信分野における最先端技術の大まかな洗い出しと整理を行う。 (2) 上記(1)で抽出した各項目に関し、自主的に詳細な調査すると共に、必要に応じて実体験を行う。 (3) 上記(2)を進める中間段階で、担当教員にそれまでの検討内容の概要報告を行い、その後に向けて検討計画の修正をする。 (4) 上記(3)に沿って、最先端技術の調査をさらに進め、必要に応じて実体験を行う。 (5) 最終的に、上記(1)～(4)の検討内容をまとめたレポートを作成すると共に、他の受講生を含めた報告会で調査内容の発表、報告を行う。
E-Mail address	matsumoto@c.dendai.ac.jp
履修上の注意事項・学習上の助言	(1) 調査、検討は自主的に行う。 (2) 各自の専門分野だけでなく、情報通信全般の最先端技術分野を対象とする。 (3) 出来るだけ数多くの文献等を調査して客観性を確保する。 (4) 報告書の作成においては図や表の利用、平易な文章表現により、内容を分かり易くする。